



# こだわりの環境

神奈川でパソコン関係の仕事をしてきた梶川光夫さん。会話のない職場、乗車率200%の満員電車、違和感しかない日々でストレスも限界に達していた。そこで2年前、結婚を機に生活のスタンスを変えようと、自然あふれる田舎で暮らすことを決意する。

現在は、飯南高校魅力化コーディネーターの仕事をしてながら飯南町の町営住宅で家族3人仲良く生活している。「ずっと市街地で生活していたので、自然の中で生きることが憧れていました。朝になると家の前に霧が出ているだけで『最高だな』と思います」と話す梶川さん。家の周りは緑に囲まれ、小川や田んぼ、果樹園があり、まさしく田舎のど真ん中。鳥のさえずり、夜空の美しさ、何よりクリアな「空気感」が心地よいと語る。



## 住まいに関する支援制度

飯南町地域資源情報バンクには、飯南町内の空き家や空き地など100件以上が登録されている。そのうち約30件で利用者を募集中。随時相談や見学を受け付けている。改修費用の半額助成(上限50万円)や片付け費用の半額助成(上限5万円)の活用が可能。購入の際に金融機関で資金を借りられた場合には、利子相当額(上限50万円)の助成が受けられる。

島根のここが「いいね」  
空気キレイ、水キレイ、食べ物がおいしい!  
家で栽培している野菜やいただいた野菜を生でかじって食べられることに感動しました!



かじかわみつお  
梶川光夫さん

- 広島出身
  - 大阪で就職
  - 神奈川へ転勤・結婚
  - 2年前に飯南町へ1ターン
  - 飯南高校魅力化コーディネーター
- 梶川光夫さん Profile**  
広島県出身。大阪府で就職し大手精密機器メーカー勤務。神奈川県に転勤するが、結婚を機に2年前、飯南町へ移住。現在、飯南高校魅力化コーディネーターを務めている。

## 田舎のど真ん中で暮す



緑の山々に囲まれた集落に住む梶川さん。早朝、霧が立ち込めている田んぼの中を散歩するのが好き。



自宅横の家庭菜園ではトマトやハーブなどをつくっている。とれたてハーブをお茶にしたり、化粧水にも活用している。



散歩をしていると近所の人に会い立ち話。近くに果樹園もあり、同じ1ターン者の先輩家族も暮らしている。